※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	情報処理ｂ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「最新　情報処理　Advanced Computing」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１０分間に３００文字以上入力できる基礎的な技術やビジネス文書の作成ややプレゼンテーションソフト（パワーポイント）を用いた課題作成など社会で役立つ技術の習得をめざします。

２　学習の到達目標

・ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身につける。
・コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。
・表計算ソフトウェアやワープロソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、情報通信ネットワークなどを活用したビジネス情報の処理ができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ビジネスにおける情報活用の意義と役割を理解するとともに、それを実践するための知識を身につけている。 ・ビジネスの基礎知識ならびにコンピュータのハードウェア、ソフトウェアやアプリケーションソフトウェアの活用に関する基礎的な知識を身につけている。情報通信ネットワークを活用した情報の収集、表計算ソフトウェアやワープロソフトウェアを用いた情報の整理や加工、プレゼンテーションソフトウェアを用いた情報の発信などの基礎的な技能を身に付け、ビジネス情報の活用ができる。	・情報をビジネスに活用するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用し、情報を活用しやすい形に加工する工夫を行うとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断ができる。	・ビジネスにおける情報の活用に関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用しようとする。 ・ビジネス情報の収集、整理・加工、伝達に必要な情報技術を活用するための知識・技術を積極的に身につけようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前・後期　前半	４章　ビジネス文書の作成	１節　ビジネス文書と表現 ２節　図形と画像の活用 ３節　基本文書の作成 ４節　応用文書の作成	a:ワープロの基本的な操作方法やホームポジションとタッチメソッドについて理解している。 機器やソフトを適切に使用し、例題や練習問題をうまく仕上げることができる。 表計算の機能を利用し、計算やソートなどの操作ができる。 b:正確な文書の要件、わかりやすい文書の要件について理解し、文書の作成に役立てることができる。 図形情報の特徴を理解し、目的に応じた適切なソフトウェアを選択できる。 社外文書・社内文書の作成方法を理解し、文書の作成に役立てることができる。 図形描画機能の利用やコメントの挿入をうまく利用することで、表現力に富んだ文書を作成することができる。 c:文書の構成要素と配置や文書作成の要領について、興味を持って学ぼうとする。 図形や静止画像による情報の表現に興味を持ち、その特徴や表現手法を積極的に学ぼうとする。 キーボードと指の分担について、興味を持って実際に操作し、文字の入力、漢字変換、特殊な入力方法を習得しようとしている。 特殊効果文字、グラフや図形の貼り付け、図形描画とコメントの挿入、表現力に富んだ文書の作成方法を習得しようと興味を持って操作している。	・小テスト ・単元テスト ・演習	・単元テスト ・演習	・小テスト ・演習

※令和４年度以降入学生用

前・後期 後半	５章 ビジネス文書の作成	１節 プレゼンテーションの技法 ２節 ビジネスとレゼンテーション	a:プレゼンテーションの目的、種類、および実施にあたっての企画・準備などの流れの概要を理解している。 プレゼンテーションソフトウェアの特徴と基本機能について理解している。 目的に応じたストーリーの作成ができる。また、プレゼンテーションソフトウェアを利用して、分かりやすい資料を作成できる。 b:自分や他の生徒が実施したプレゼンテーションについて、その良い点や改善点を適切に評価できる。 分かりやすい話し方や発表態度でプレゼンテーションが実施できる。 c:効果的なプレゼンテーションの仕方について興味を持ち、積極的に学ぼうとする。	・単元テスト ・問題演習	・単元テスト ・ワークシート	・ワークシート ・小テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度